

学校地域WIN-WINプロジェクト プログラムシート

会社名	公益財団法人AFS日本協会
プログラム名	AFS国際理解教育出前授業 ～異文化を学ぼう～
対象生徒	高校、中学校、小学校
プログラムの 所要時間 実施場面	50分×(2)コマ 授業、講演会、研修などによって目的、生徒数など内容を変えることは可能
プログラムのねらい	
異文化への関心を高め、理解を深めることをねらいとしています。	
プログラムの内容	
<p>★留学体験者を講師にしたプレゼン+ワークショップ授業 高校留学をした大学生が留学中に体験した課題に対する考えをプレゼンし、それを聞いた生徒たちにディスカッションをしてもらったり、ワークショップをしながら自分たちで考えをまとめて発表してもらおうアクティブラーニングの形式で授業を行います。テーマとしては「貧困」「難民」「宗教」「ジェンダー」「環境」など先生とも相談しながら決めていきます。</p> <p>★受入生を講師にした授業 受入生が日本での生活を通して体験した母国と日本との違い（学校生活、家庭生活、習慣、文化、考え方など）についての気づきをプレゼンしての授業を行います。</p> <p>★社会人帰国生による講演 AFS体験をした2万人以上の帰国生の中には財界、メディア、医療、教育関係など様々な分野で活躍している方がたくさんいます。その方たちに留学を通して身につけた文化的多様性・寛容性が社会で仕事をする際にどのように活かされているかという視点に基づきテーマに沿った講演をすることができます。テーマ、内容、開催時期などに関しては学校と相談しながら決めます。</p> <p>★国内外の進学セミナーの開催 高校留学の経験を通して学んだことをどのように進路に活かしていったか。留学中に体験した出来事を通し問題意識を持ち進路を決めていったケースなどの事例を紹介しながら進学セミナーを行います。</p>	
学校側へご提供いただけるもの	
AFSでは国際的な課題に関する理解や文化的多様性に関する研究を行っており、AFSの教育プログラム的一端を学校現場でも体験してもらえます。	
学校側に整えてもらいたい設備・環境	
プレゼンの際に使用するプロジェクター、スクリーン。ワークショップで使用する模造紙、ポストイット、マジックなど	
学校側への依頼事項	
テーマ設定にあたり、学校側の狙い、目的を事前に知らせてもらい、授業の内容を決めます。テーマが設定されたら生徒に事前学習をするように準備してもらおうとより理解が深まると考えます。生徒たちが自分で考え発表できるようにグループワークへの理解と協力をお願いします。	

企業のWIN

AFSの活動を知ってもらうと同時に異文化への関心と理解を深める人材育成に貢献できること

学校のWIN

実際に異文化体験をし、ワークショップの運営に慣れている講師による授業なので生徒にとっては分かりやすい内容で、生徒が自分で考え発表する力を高めることができます

学校負担費用 なし

連絡先	部署名	特命事項		
	担当者	中村誠	WEB	http://www.afs.or.jp/
	電話	03-6206-1911	e-mail	makoto.nakamura@afs.or.jp